



イノスマンスリー

INOS Monthly



素朴な「なぜ？」をスッキリ解決！

No.10

Q.一富士、二鷹、三なすびとは？

A.「駿河の国(今の静岡県)の名物を集めた」とか、「徳川家康が言い出した」など、いくつか説があります。江戸時代から言われ始めたようです。

静岡市文化財課によると、この三つは「高いものづくし」で、標高が日本一の富士山、空中の高いところを飛ぶタカが1、2番に並んでいます。富士山の大きさ、勇壮なタカの姿から、「縁起がよい」とされたのでしょう。

3番目のナスは、冬の季節にとれるナスです。ナスは本来、夏から秋にかけて収穫されるものですが、江戸時代に、現在の静岡市清水地区近辺で、温暖な気候を利用したナスの促成栽培の技術が確立されました。とはいえ、ビニールハウスもない時代で、冬のナスは珍しく、庶民には高嶺の花でした。「冬のナスが買えるほどの、お金持ちになれる」という意味が込められたのではないかと、とのこと。

Q.焼酎の甲、乙類の違いとは？

A. 国税庁と日本酒造組合中央会に聞きました。両者の区別は、1953年に現行の酒税法が制定された時に設けられました。甲類は「連続式蒸留機」を使い、アルコールの純度が高くなったものを、水を加えて調整し36度未満にしたものです。無色透明でくせのないさわやかな味の特徴で、酎ハイなどによく割って飲まれます。

これに対して、乙類は1回しか蒸留をしていないもので、そのため原料に使われている芋や麦などの独特の風味が残っています。アルコール分は45度以下で、その多くは「本格焼酎」と呼ばれています。酒税類は、どちらも1リットル当たり(アルコール分25度)248.10円です。

Q.番付、どうして東が格上なの？

A.日本相撲協会によると、大相撲の番付は東が格上です。東が格上になったのは、相撲の歴史と関係があります。

相撲の歴史は古く、奈良、平安時代に、ほぼ形ができあがりました。奈良時代、聖武天皇のころに、宮中で天皇の前で相撲大会を実施し、豊作などを祈願する「相撲節会(すまいのせちえ)」が始まりました。旧暦の7月7日に催され、季節柄、豊作以外にも、「干ばつにならないように」といったことが祈願されたようです。

この時、天皇が座ったのが北側。これが正面になり、南が向こう正面となりました。

当時の官職は、天皇から見て左側が格上です。このため、相撲でも天皇から見て左側、つまり東が格上となったのです。



Q.駅伝のタイムどう計測？

A.日本陸上競技連盟によると、現在は無線IC(集積回路)タグと呼ばれる超小型の装置を使った電子計測が採用されています。選手のゼッケンなどに切手大のICタグを貼っておき、区間終点やゴールに敷かれた受信用マットの上を選手が通過すると、ICタグの信号を感知して自動でタイムが記録される仕組みです。

かつては、区間ごとに10人以上の計測員を配置して、選手を1人ずつ手動で計っていました。選手が重なった場合などはビデオ判定のため、記録の確定まで2、3時間かかることもあり。2003年4月にICタグを使った計測法を公式記録に使えるようになり、瞬時に区間タイムなどがわかるようになりました。



『雑学スクープ新聞』(PHP研究所)より

『雑学スクープ新聞』発・今すぐ使える話のネタ、次号もお楽しみに！

全国に広がる家づくりネットワーク
INOS
イノスグループ



株式会社 **田中工務店**

本社 京都府舞鶴市倉谷1016番地
〒624-0906 TEL0773(75)2227(代)
FAX0773(77)1667

☎ 0120-185-750